



井尻小学校だより

むらさき匂う



第4号

令和6年7月17日発行

文責：校長 門脇 岳彦

学校や井尻っ子の様子を毎日ホームページに掲載しています。上のQRコードから閲覧ください。

1学期もあと数日。子どもたちは今学期のまとめを頑張っています。先週の金曜日、最後の水泳学習でした。どの子も頑張って取り組み泳力を伸ばしました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援により充実した教育活動を行うことが出来ました。ありがとうございました。

がんばった1学期

金曜日の終業式で1学期が終了となります。1学期は70日間でした。新入生がない新年度のスタートは何となくさみしい感じもしましたが、子どもたちの日々の頑張りで1学期もあつと言う間に過ぎたように思います。

子どもたちは朝の登校から日々の授業や学校生活に一生懸命取り組み、確実に力を伸ばしました。さらに、親子自転車教室、田植え学習、音楽鑑賞会、開校150周年記念青空運動会などの学校行事や体験的な学習を通して、一段とたくましく成長しました。終業式には、子どもたちの頑張りをしっかり讃え、楽しい夏休みにすることを伝えようと思います。

授業公開と救急法講習会

6月28日（金）の午後から、今年度2回目の授業公開とPTA主催の救急法講習会がありました。授業公開では、2年生は算数、3・4年生は総合的な学習、5・6年生は外国語（英語）の授業を公開しました。



PTA教養部主催の救急法講習会では安来消防署の皆さんにお世話になりました。6年生と保護者、教職員ともに救命救急法について学びました。心肺蘇生法やAEDの使い方については、繰り返し研修を受けることの大切さをあらためて感じました。また、今回は川や海でおぼれている人の救助方法やのどに異物が詰まった時の対処法についても教えていただきました。



1学期後半も多くの方にお世話になりました

★6月11日(火)午前中、どじょっこテレビさんにお世話になって全校でカメラ講習会を受けました。生活科や総合的な学習で行うインタビューの仕方についても教えていただきました。

★6月13日(木)午後、今年度最初のクラブ活動は、笹巻きづくりでした。地域の皆さんに丁寧に指導していただき、楽しく笹巻きを作ることが出来ました。

★6月19日(金)午前中、5・6年生は平和学習として加納美術館に出かけました。加納佳世子名誉館長さんに今年も丁寧に指導していただきました。

★6月20日(木)午前中、今年度最初のストーリーテリングがあり、お話の世界にどっぷりと浸りました。「おはなしのんの」の皆さんには、いつもわくわくドキドキをありがとうございます。

★7月1日(月)2校時、5・6年生は埋蔵文化調査センターさんに文化財子ども塾を開いていただき、安来市の遺跡の話の聞いたり、和同開珎を作ったりしました。

★7月3日(水)2校時、5・6年生は総合的な学習で明朗会の皆さんへインタビューを行いました。昔の学校生活のこと、「幸せ」について、健康の秘訣などを尋ねたようです。

★7月9日(火)午前中、3・4年生は社会科見学でスーパーまるごうさんに出かけて、店長さんからいろいろ教えていただきました。



全国へき地教育研究大会岡山大会に向けて

今年 10月10日(木)～11日(金) に全国へき地教育研究大会岡山大会（岡山県総合教育センター他）が開催され、本校は10日(木)の第5分散会で学校の取組を発表する予定です。

現在、研究主題『「ふるさと井尻に誇りもち、自ら考え自ら行動する子どもの育成」～ICTの効果的な活用で主体的・対話的に学び合う姿をめざして～』のもと、学習意欲の向上や個別最適な学びを重視した指導方法について研究を進めています。

すでにこれまで行ってきた地域の「ひと・こと・もの・自然」を生かした体験的な学習により、意欲をもって主体的に学ぼうとする子どもたちの姿が見られます。本校では、その上で、これらの学習が単なる体験で終わるのではなく、体験を通して子どもたちの資質・能力が高められるよう学習内容や指導方法を工夫しています。指導方法の工夫として、昨年度発表したICTの効果的な活用や言語活動の充実を考えています。ICTの効果的な活用については、今年度も引き続き全職員で研修を積み上げ、効果のある活用方法を探究していきます。言語活動の充実については、子どもたちの表現活動の機会（書く、話す、発表する、討論する等）を確保するとともに、教材との対話、学習者同士の対話、指導者との対話、地域の方やゲストティーチャーとの対話を大切にした学習過程の工夫を進めています。

すでにこれまで行ってきた地域の「ひと・こと・もの・自然」を生かした体験的な学習により、意欲をもって主体的に学ぼうとする子どもたちの姿が見られます。本校では、その上で、これらの学習が単なる体験で終わるのではなく、体験を通して子どもたちの資質・能力が高められるよう学習内容や指導方法を工夫しています。指導方法の工夫として、昨年度発表したICTの効果的な活用や言語活動の充実を考えています。ICTの効果的な活用については、今年度も引き続き全職員で研修を積み上げ、効果のある活用方法を探究していきます。言語活動の充実については、子どもたちの表現活動の機会（書く、話す、発表する、討論する等）を確保するとともに、教材との対話、学習者同士の対話、指導者との対話、地域の方やゲストティーチャーとの対話を大切にした学習過程の工夫を進めています。

子ども的人数が少なく多様な意見に触れにくい等のへき地校のデメリットは、全校活動や縦割り班の活動、ICTを活用した他校との交流、保護者や地域の方を巻き込んだ学習の機会の確保等で対応しようと考えています。引き続き、子どもたちの豊かな学びのためにご支援・ご協力をお願いします。